

GRUS-3α

地球観測能力を進化させる、
次世代のために。



GRUS-3α(グルーススリーアルファ)はアクセルスペースが開発した11機目の小型衛星です。AxelGlobe事業で2026年に打ち上げ予定の次世代地球観測衛星「GRUS-3(グルーススリー)」に使用する望遠鏡を含む光学システムの性能検証を目的にしており、GRUS-3の信頼性の確保と打ち上げ後早期のサービス提供に寄与します。また、AxelLiner事業で活用する予定の小型衛星の汎用バスシステムの性能検証も兼ねています。

GRUS-3αは2024年より開発が進められ、2025年6月24日(日本時間)に米国カリフォルニア州のヴァンデンバーグ宇宙軍基地から打ち上げられました。予定していた軌道への投入と軌道上の衛星から地上への最初の電波(ファーストボイス)の受信に成功し、現在は衛星の性能検証や評価を実施しています。

検証結果をGRUS-3開発に反映

2026年、アクセルスペースにおいて過去最多となる最大7機のGRUS-3が同時に打ち上げられる予定です。1機あたりの観測幅は28.3km、最長観測距離は1,356km、地上分解能(地上の物体をどれほど細かく判別できるかを示す)は2.2mで、7機合わせて1日最大230万km²を撮影する能力があります。衛星に搭載されるセンサーは、人の目に見える色だけでなく、植物の生育状況や沿岸域の地形などを可視化するための光の波長も捉えることができます。現在運用している5機の地球観測衛星「GRUS-1(グルースワン)」のコンステレーションに加わり、広い面積を短期間に観測したいというニーズや災害発生時などの緊急撮影ニーズに応え、精密農業、森林監視、地図作成のほか、環境、金融、不動産といった幅広い領域での地球観測データの利用を促していきます。

所有者：株式会社アクセルスペース
サイズ：幅960mm×780mm×高さ1260mm
質量：約150kg
運用軌道：太陽同期軌道、高度600km
打ち上げ日時：2025年6月24日(火)
午前6時25分(日本時間)
打ち上げ機：Falcon 9(SpaceX)
現在：初期運用中

会社概要

AXELSPACE

株式会社アクセルスペース

〒103-0023 東京都中央区日本橋本町三丁目3番3号 Clip ニホンバシビル

問合せ：info@axelspace.com URL :www.axelspace.com/ja/